

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 23 年 7 月 7 日 (2011.7.7)

【公表番号】特表 2010-534657 (P2010-534657A)

【公表日】平成 22 年 11 月 11 日 (2010.11.11)

【年通号数】公開・登録公報 2010-045

【出願番号】特願 2010-518241 (P2010-518241)

【国際特許分類】

A 6 1 K 8/81 (2006.01)

C 1 1 D 3/37 (2006.01)

C 1 1 D 1/34 (2006.01)

A 6 1 K 8/55 (2006.01)

A 6 1 Q 5/02 (2006.01)

A 6 1 Q 5/12 (2006.01)

A 6 1 Q 19/10 (2006.01)

A 6 1 Q 5/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 8/81

C 1 1 D 3/37

C 1 1 D 1/34

A 6 1 K 8/55

A 6 1 Q 5/02

A 6 1 Q 5/12

A 6 1 Q 19/10

A 6 1 Q 5/10

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 5 月 17 日 (2011.5.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヘアリラクサー、合成的に着色した頭髮と関連した使用のための、シャンプー、コンディショナー、またはコンディショニングシャンプーからなる群から選択されるパーソナルケア製品であって、

a) その構造中に 4 つより多い第四級窒素を有し、そして約 4、000 ~ 約 2、000、000 の重量平均分子量を有する少なくとも 1 種のポリクオタニウム化合物、

b) 脂肪アルコールのアルコキシル化されたホスフェートエステルと脂肪アルコールのアルコキシル化されていないホスフェートエステルとの混合物、

ここで、該ホスフェートエステルは、 $C_8 \sim C_{22}$ の鎖長を有する脂肪アルコール系基を有し、該アルコキシ基は、エチレンオキシド、プロピレンオキシドまたはそれらの混合物を含み、そして 1 モルの脂肪アルコール系基当たり、1 ~ 50 モルのアルキレンオキシドが使用され、該アルコキシル化されたホスフェートエステルおよび該アルコキシル化されていないホスフェートエステルは、60 wt % 以下の該ホスフェートエステルがアルコキシル化されている様な量で存在し、そして該アルコキシル化されたホスフェートエステルおよび該アルコキシル化されていないホスフェートエステルは、モノホスフェート

エステルおよびジホスフェートエステルの両方を含み、ジホスフェートエステルの量は、該ホスフェートエステルの全量の少なくとも 40 wt % であり、そして該ホスフェートエステル：該ポリクオタニウム化合物の比が、1.5 : 1 ~ 約 100 : 1 であり；そして該ホスフェートエステルおよび該ポリクオタニウム化合物の全量は、該パーソナルケア製品の 0.20 wt % ~ 1.5 wt % の範囲である、および、

c) 追加成分、

を含んで成る、パーソナルケア製品。

【請求項 2】

該アルコキシル化されたジホスフェートエステルおよびアルコキシル化されていないジホスフェートエステルが、アルコキシル化されたモノホスフェートエステルおよびアルコキシル化されていないモノホスフェートエステルの量以上の量で存在し、そして該アルコキシル化されていないホスフェートエステルが、アルコキシル化されたホスフェートエステルの量以上の量で存在する、請求項 1 のパーソナルケア製品。

【請求項 3】

該アルコキシル化されたジホスフェートエステルおよびアルコキシル化されていないジホスフェートエステルが、P E G - 5 オレイルホスフェートエステルおよびジオレイルホスフェートエステル、または P E G - 10 イソステアリルホスフェートエステルおよびジオステアリルホスフェートエステルを含む、請求項 1 または 2 のパーソナルケア製品。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項のパーソナルケア製品を髪に適用する工程を含む、より優れたコンディショニングを髪に与える方法であって、ここで、より優れたコンディショニングは、水のみで処理した頭髮に比較した場合、少なくとも 10 ジュールの全仕事の減少 を意味する、方法。

【請求項 5】

パーソナルケア製品であって、

a) 100 以上の第四級窒素基を有し、そして 30、000 ~ 1、000、000 の重量平均分子量を有するポリクオタニウム化合物、

b) 脂肪アルコールのアルコキシル化されていないホスフェートエステル、
ここで、該ホスフェートエステルは、ジオレイルホスフェートまたはイソステアリルホスフェートを含む約 C₁₂ ~ 約 C₁₈ の鎖長を有する脂肪アルコール系基を有し、該ホスフェートエステルの該ポリクオタニウム化合物に対する比が、2 以上であり、そして該ホスフェートエステルおよび該ポリクオタニウム化合物の全量は、該パーソナルケア製品の 0.5 wt % ~ 5 wt % の範囲である、および、

c) 追加成分、

を含んで成る、パーソナルケア製品。

【請求項 6】

該アルコキシル化されていないホスフェートエステルが、モノホスフェートエステルとジホスフェートエステルとの混合物として存在し、ジホスフェートエステルの量が、モノホスフェートエステルの量より多い、請求項 5 に記載のパーソナルケア製品。

【請求項 7】

該製品が、ヘアカラーであり、そして該ホスフェートエステルの該ポリクオタニウム化合物に対する比が 4 以上である、請求項 5 または 6 に記載のパーソナルケア製品。

【請求項 8】

パーソナルケア製品であって、

a) 100 以上の第四級窒素基を有し、そして 30、000 ~ 1、000、000 の重量平均分子量を有するポリクオタニウム化合物、

b) 脂肪アルコールのアルコキシル化されていないホスフェートエステル、
ここで、該ホスフェートエステルは、約 C₁₂ ~ 約 C₁₈ の鎖長を有する脂肪アルコール系基を有し、該ホスフェートエステルの該ポリクオタニウム化合物に対する比が、2 以上であり、そして該ホスフェートエステルおよび該ポリクオタニウム化合物の全量は、該

パーソナルケア製品の 0 . 5 w t % ~ 5 w t % の範囲である、および、

c) 追加成分、

を含んで成る、パーソナルケア製品を髪に適用する工程を含む、より優れたコンディショニングを髪に与える方法であって、ここで、より優れたコンディショニングは、水のみで処理した頭髮に比較した場合、少なくとも 10 ジュールの全仕事の減少を意味する、方法

。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 3 のいずれか一項のパーソナルケア製品を髪に適用する工程、または請求項 8 の方法を含む、合成的に着色した頭髮中のヘアカラーの度合いを保つ方法。

【請求項 10】

該ホスフェートエステルおよびポリクオタニウム化合物のない同じ製品と比較して、15 回洗浄後の色変化が減少する、請求項 9 に記載の方法。